



委員会関係

【総務委員会報告】

【教授会報告】

教務委員会

財務委員会

- ・研究支援経費の申請について  
(経B 2号)
- ・2025年度における預託金制度  
について (経B 3号)

教育研究経費委員会

情報基盤委員会

入試委員会

- ・令和8年度大学入学共通テスト  
監督補助者の募集について  
(教B 1号)

教養教育評価委員会

学生委員会

三鷹国際学生宿舎  
運営委員会

図書委員会

前期運営委員会

後期運営委員会

建設委員会

環境委員会

防災委員会

その他

オルガン委員会

総務委員会議事要旨（案）

日 時：2025年11月6日（木） 13:15～13:58

場 所：Zoom会議

出席者：42名

I. 総務委員会議題（総務委員会議決事項）

○ 議題

1. 通達事項

研究科長から、通達事項について説明があり、了承された。

II. 拡大教授会、教授会上程議題の審議

下記の報告事項・議題について拡大教授会に上程することとした。

○ 報告事項

1. 総務委員会報告

2. 研究科長・学部長・研究所長合同会議等報告

○ 議題

1. 教員人事

○ 教員人事の内容

退職転出等				1件
講 師	提 案			1件
准 教 授	提 案			4件
教 授	提 案			9件
	報 告			2件

計17件

以上

学内委員会委員等の委嘱について

・委嘱事項 6件

2025. 11. 20

	委員会名	旧委員	新委員	規則上の任期	新委員の任期
1	相談支援研究開発センター 学生等相談連絡会議委員	もとよし いさむ 本吉 勇 授 教 授	いしがき たくま 石垣 琢磨 授 教 授	定めなし	定めなし
2	相談支援研究開発センター 学生等相談連絡会議委員	あおき まさる 青木 優 授 准 教 授	あおき まさる 青木 優 授 准 教 授	定めなし	定めなし
3	アト秒レーザー科学研究機構 運営委員会	はせがわ ひろかず 長谷川 宗良 授 教 授	はせがわ ひろかず 長谷川 宗良 授 教 授	自 2025. 11. 1 至 2027. 3. 31	自 2025. 11. 1 至 2027. 3. 31
4	アト秒レーザー科学研究機構 運営委員会	まふね ふみたか 真船 文隆 授 教 授	まふね ふみたか 真船 文隆 授 教 授	自 2025. 11. 1 至 2027. 3. 31	自 2025. 11. 1 至 2027. 3. 31
5	アト秒レーザー科学研究機構 連携協議会分科会	はせがわ ひろかず 長谷川 宗良 授 教 授	はせがわ ひろかず 長谷川 宗良 授 教 授	自 2025. 11. 1 至 2027. 3. 31	自 2025. 11. 1 至 2027. 3. 31
6	アト秒レーザー科学研究機構 連携協議会分科会	_____	ふかほり しんいち 深堀 信一 教 助 教	自 2025. 11. 1 至 2027. 3. 31	自 2025. 11. 1 至 2027. 3. 31

受託研究の受入について

2025年度

2025年11月20日

No.	研究担当者			研究委託機関	事業名	研究題目	総額(円)	備考
	役職	氏名	所属					
2-4	教授	市橋 伯一	生命環境	国立研究開発法人科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業(CREST)	自己再生産し進化する人工ゲノム複製・転写・翻訳システムの開発	3,510,000	変更契約 変更後総額: 32,760,000円
16-3	助教	金子 直嗣	生命環境 (身体運動)	国立研究開発法人科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業(さきがけ)	情動と身体運動のインタラクションにおける内受容感覚の役割解明	1,300,000	変更契約 変更後総額: 19,136,000円
20-2	助教	武政 雄大	相関基礎	国立研究開発法人科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業(ACT-X)	Non-bonding $\pi$ conjugation: 空間的共役の解明	4,420,000	変更契約 変更後総額: 7,020,000円
76	講師	武内 秀憲	生命環境	国立研究開発法人科学技術振興機構	創発的研究支援事業	植物染色体の維持と改変による種の確立の原理探究	975,000	
77	准教授	岩井 智弘	相関基礎	国立研究開発法人科学技術振興機構	創発的研究支援事業	ナノエレクトロニクス分子触媒の創製	5,200,000	
78	准教授	橘高 俊一郎	相関基礎	国立研究開発法人科学技術振興機構	創発的研究支援事業	方位敏感な機能物性の開拓と革新的冷却技術の創出	7,800,000	
79	教授	川島 真	国際社会	公益財団法人日本台湾交流協会	-	日台間の開発援助協力の可能性に関する事例研究	1,200,000	
80	特任助教	金井 雄樹	先進科学研究機構	国立研究開発法人科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業(さきがけ)	進化能のデザインによる超生体組織の育種的創出	9,100,000	
81	教授	瀬川 浩司	広域システム	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	太陽光発電導入拡大等技術開発事業	循環型社会構築リサイクル技術開発/ペロブスカイト太陽電池の大量導入を見据えたマテリアルリサイクル技術の開発	100,391,300	・再委託 有機系太陽電池技術研究組合: 4,000,700円 株式会社浜田: 5,541,800円 株式会社合同資源: 1,936,000円 関東化学株式会社: 2,615,800円
82	教授	瀬川 浩司	広域システム	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	太陽光発電導入拡大等技術開発事業	共通基盤技術開発/高効率・高耐久ペロブスカイト太陽電池の開発とタンデムへの展開	99,998,600	・再委託 電気通信大学: 11,700,000円 東京都市大学: 8,970,000円 イムラ・ジャパン株式会社: 14,999,600円
83	准教授 大学院生	大関 洋平 吉田 遼	言語情報	国立研究開発法人科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業(ACT-X)	認知・脳情報に基づく解釈性と性能を両立した LLM	2,366,000	
84	准教授	大関 洋平	言語情報	国立研究開発法人科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業(CREST)	心理言語学からみた Turing Test 2.0と人・LLM間のフィードバックループへの貢献	1,300,000	

## 共同研究の受入について

2025年度

2025年11月20日

No.	研究担当者			共同研究機関	研究題目	研究期間	総額(円)	備考
	役職	氏名	所属					
54	准教授	大関 洋平	言語情報	Google Asia Pacific Pte. Ltd	AI Symbiotic Future Society Program (AI 相利共生未来社会講座)	2024/11/1-2027/10/31	0	2024/10/17開催の総務委員会・教授会にて社会連携講座の承認済
55	教授	四本 裕子	生命環境	明治ホールディングス株式会社	ヒトの感覚処理感受性と腸脳関連の研究	2025/9/25-2027/3/31	0	
56	教授	瀬川 浩司	広域システム	株式会社デンケン	ペロブスカイト太陽電池モジュール出力の計測制御法に関する研究	2025/9/1-2026/3/31	0	MSHシステムズ株式会社 株式会社SPD研究所 NTTアノードエナジー株式会社を含めた5者契約

## 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 第11期運営諮問会議

## 第1回会議

## 諮問事項「大学院総合文化研究科・教養学部におけるユニバーサル化に向けた課題」

東京大学の基本原則を定めた文書である「東京大学憲章」には、「東京大学は、基本的人権を尊重し、国籍、信条、性別、障害、門地等の事由による不当な差別と抑圧を排除するとともに、すべての構成員がその個性と能力を十全に発揮しうよう、公正な教育・研究・労働環境の整備を図る」と述べられています。すなわち、国籍や障害といった条件によって不利益を被ることなく、全ての人々が同じように東京大学という場に参加し、活躍できることが目指されています。これは、現在の東京大学の基本方針である UTokyo Compass においても「安心して活動でき世界の誰もが来たくなるキャンパス」という形で述べられていることでもあります。

将来のキャンパスの国際化や多様化を視野に入れて、大学院総合文化研究科・教養学部では、個々の人々が持つ条件や状況に左右されることなく、誰もが同じように大学院総合文化研究科・教養学部という場に参加できるような環境を作り出したいと考えており、これを「ユニバーサル化」という言葉で表します。しかし、このユニバーサル化に対しては様々な課題があり、これらの課題を一つ一つ乗り越えて行かなくてはいけないことも認識しています。

今回の会議では、そのような課題の中でも、とりわけ様々な形で障害を持つ人々、様々な国籍を持ち、言語もお互いに異なる人々、ジェンダーのあり方が多種多様である人々に注目し、これらの人々がどのように大学院総合文化研究科・教養学部という場に同じように参加できるかについて考えたいと思っています。

運営諮問委員の皆様には、このような大学院総合文化研究科・教養学部におけるユニバーサル化の実現を阻む課題について、大学院総合文化研究科・教養学部としてはそのような課題をどのようなものとして認識し、またどのように対応すべきかについて、忌憚のないご意見を賜りたく存じます。

つきましては、上記諮問事項についてご議論を賜りますよう、お願い申し上げます。

寄附金の受入について

2025年度

2025年11月20日

	No.	受入担当者			寄附者	寄附目的	総額	備考
		役職	氏名	所属				
寄附金	60	特任准教授	宮崎 彩	教養教育高度化機構	宮崎彩(公益財団法人三菱財団)	研究等助成のため	2,250,000	研究支援経費免除
	62	准教授	樋渡 雅人	国際社会	公益財団法人 住友財団	研究等助成のため	2,500,000	研究支援経費免除
	65	センター長	中野 耕太郎	アメリカ太平洋地域研究センター	豪日交流基金	研究等助成のため	3,970,306	研究支援経費免除
							合 計	8,720,306
						2025年度累計	129,332,868	

## 拡大教授会

### ○ 報告事項

1. 総務委員会報告
2. 研究科長・学部長・研究所長合同会議等報告（総A1号）（総B3号）
3. 全学環境安全管理室等会議・事故災害報告（総B4号）（総B5号）
4. 研究費不正使用の注意喚起（研B4号）
5. 各委員会報告（経B2号）（経B3号）（教B1号）
6. グローバル地域研究機構に置く研究部門・センターについて（東アジア漢学研究センター設置について）（総B6号）
7. コモレビラウンジ ネーミングプランの協賛者決定について（経B1号）
8. 英文版研究費使用ハンドブック（Research\_Funds\_Usage\_Handbook\_ver.202408）について  
(研B3号)
9. その他
  - ・基盤的学術雑誌等整備の必要経費について
  - ・教養教育高度化機構「アクティブラーニングニュースレター」の発行について

## 教授会

### ○ 議題

1. 次期副研究科長ならびに次期評議員の選考日程について（総B7号）

### ○ 教員人事

転職退職等				2件
講師	提	案		1件
准教授	報	告		4件
教授	提	案		4件
	報	告		8件

計19件

委員会関係

教務委員会

財務委員会

- ・研究支援経費の申請について（経B 2号）
- ・2025年度における預託金制度について（経B 3号）

教育研究経費委員会

情報基盤委員会

入試委員会

- ・令和8年度大学入学共通テスト監督補助者の募集について  
(教B 1号)

教養教育評価委員会

学生委員会

三鷹国際学生宿舎  
運営委員会

図書委員会

前期運営委員会

後期運営委員会

建設委員会

環境委員会

防災委員会

その他

オルガン委員会

## 拡大教授会および教授会議事要旨(案)

日時 2025年10月16日(木) 15:45~17:01  
場所 Zoom会議  
出席者 240名

### 議題

#### ○ 報告事項

##### 1. 総務委員会報告

研究科長から、10月2日、10月16日開催の総務委員会について説明・報告があった。

##### 2. 研究科長・学部長・研究所長合同会議等報告

研究科長から、10月14日開催の研究科長・学部長・研究所長合同会議について、資料(総B1号)に基づき説明・報告があった。

##### 3. 研究費不正使用の注意喚起

研究科長から、資料(研B4号)に基づき報告があった。

##### 4. 各委員会報告

・平岡秀一教務委員会委員長から、2025年度東京大学9月入学者数等(PEAK)について、資料(教B5号)に基づき報告があった。

・平岡秀一教務委員会委員長から、2025年度PEAK及落判定について報告があった。

・平岡秀一教務委員会委員長から、2025年度A Semester(A1・A2ターム)定期試験の実施について、資料(教B2号)に基づき報告があった。

・平岡秀一教務委員会委員長から、2025年度A Semester(A1・A2ターム)成績報告について、資料(教B3号)に基づき報告があった。

・小粥太郎学生委員会委員長から、第7回駒場祭期間中及び前日の車両入構規制について、資料(学B1号)に基づき報告があった。

・田村隆環境委員会委員長より、環境整備について説明があった。

##### 5. 第2体育館アリーナネーミングプランの協賛者決定について

道上達男副研究科長から、資料(経B2号)に基づき説明があった。

##### 6. 輸出管理シートの取り扱いについて

道上達男副研究科長から、資料(研B3号)に基づき説明があった。

##### 7. 標的型攻撃メール訓練の実施について

道上達男副研究科長から、資料(総B2号)に基づき説明があった。

##### 8. 進学選択の結果について

清水剛副研究科長から、資料(教B4号)に基づき説明があった。

三浦あゆみ研究科長補佐から、研究科長補佐着任の挨拶があった。

国際社会科学専攻鈴木悠准教授から、10月1日付着任の挨拶があった。

#### ○ 審議事項

##### 1. 大学院総合文化研究科・教養学部における教員評価制度について

川喜田敦子副研究科長から、資料(総B3号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

##### 2. 18号館ホールネーミングプランについて

道上達男副研究科長から、資料(経B1号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

##### 3. 2026年度授業日程について

平岡秀一教務委員会委員長から、資料(教B4号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

以下、教授会構成員対象の議題です。

教授会

○ 教員人事

講	師	報	告	2件
准	教	報	告	2件
教	授	提	案	2件
	授	報	告	3件

計9件

以上

## 議題及び資料

01	学内外情勢  (資料1) 学内外情勢	総長
02	東京大学大学院情報学環・学際情報学府組織運営規則の改正 <b>* 審議</b> (資料2) 東京大学大学院情報学環・学際情報学府組織運営規則の一部を改正する規則(案)	津田理事
03	東京大学における教員の任期に関する規則の一部改正 <b>* 審議</b> (資料3) 東京大学における教員の任期に関する規則の一部を改正する規則(案)	相原理事
04	令和8年1月1日以降の昇給の選考 <b>* 報告</b> (資料4) 令和8年1月1日以降の昇給の選考について(学内教職員限り)	角田理事
05	THE World University Rankings 2026の概要 <b>* 報告</b> (資料5) Times Higher Education World University Rankings 2026 の概要	齊藤理事
06	「RE: THINKING UTOKYO TOGETHER」デジタルプラットフォームの構築 <b>* 報告</b> (資料6) 6-1:「RE: THINKING UTOKYO TOGETHER」デジタルプラットフォームの構築、6-2:(参考)RE: THINKING UTOKYO TOGETHER 国際卓越研究大学としての東京大学を共に考えるワークショップ開催概要	総長
07	英文版研究費使用ハンドブック <b>* 報告</b> (資料7) 英文版研究費使用ハンドブックについて	齊藤理事
08	東京大学ニューヨークオフィス(UTokyoNY)の移転 <b>* 報告</b> (資料8) UTokyoNY移転について	相原理事
09	教職員倫理規程に関するチェックリストの活用等の徹底 <b>* 報告</b> (資料9) 東京大学教職員倫理規程に関するチェックリストの活用等の徹底について(通知)	角田理事
10	標的型攻撃メール訓練の実施 <b>* 報告</b> (資料10) 標的型攻撃メール訓練の実施について(通知)(学内教職員限り)	田浦執行役
11	同窓会の実態等に係る全学調査の実施 <b>* 報告</b> (資料11) 同窓会の実態等に係る全学調査の実施について(依頼)	三島執行役
12	コンプライアンス・リーガルマネジメント教育の期間延長 <b>* 報告</b> (資料12) 本学の全教職員等を対象とするコンプライアンス・リーガルマネジメント教育の期間延長について(依頼)(学内教職員限り)	角田理事
13	寄付講座、社会連携講座及び国立研究開発法人連携講座等の設置等 <b>* 報告</b> (資料13) 寄付講座、社会連携講座及び国立研究開発法人連携講座等の設置等	齊藤理事
14	その他 (1) 教職員過半数代表者の選出に係る協力依頼 (資料14) 教職員過半数代表者の選出要綱  (2) 第6回次世代育成教育フォーラム開催案内 (資料15) 第6回次世代育成教育フォーラム開催要項	角田理事   津田理事

令和 年 月 日

東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構に置く  
研究部門・センターについて

東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構規則（平成22年3月18日）第6条  
第2項の規定による研究部門・センターに関して、令和8年4月1日以降、次のとおりとする。

第6条関係 研究部門・センター

アメリカ太平洋地域研究センター  
ドイツ・ヨーロッパ研究センター  
アフリカ地域研究センター  
持続的平和研究センター  
持続的開発研究センター  
中東地域研究センター  
地中海地域研究部門  
南アジア研究センター  
韓国学研究センター  
ラテンアメリカ研究センター  
東アジア漢学研究センター

(参考)

東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構規則（抄）

(組織)

第6条 機構に、研究部門・センターを置く。

- 2 研究部門・センターに関する事項は、別に定める。
- 3 前2項に掲げる研究部門・センターの他に、寄附研究部門・センターを置くことができる。

## 参考資料（～令和8年3月31日）

東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構に置く  
研究部門・センターについて

東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構規則（平成22年3月18日）第6条  
第2項の規定による研究部門・センターに関して、平成30年4月1日以降、次のとおりとする。

### 第6条関係 研究部門・センター

アメリカ太平洋地域研究センター  
ドイツ・ヨーロッパ研究センター  
アフリカ地域研究センター  
持続的平和研究センター  
持続的開発研究センター  
中東地域研究センター  
地中海地域研究部門  
南アジア研究センター  
韓国学研究センター  
ラテンアメリカ研究センター

（参考）

東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構規則（抄）

（組織）

第6条 機構に、研究部門・センターを置く。

- 2 研究部門・センターに関する事項は、別に定める。
- 3 前2項に掲げる研究部門・センターの他に、寄附研究部門・センターを置くことができる。

コモレビラウンジ ネーミングプランの協賛者決定

- ・ 協賛者名：株式会社デンソー（昭和24年12月16日設立）  
 業務内容（自動車、産業車両、鉄道車両、船舶、航空機等の  
 各種輸送機器用、宇宙機器用及びその他原動機用  
 の電気・電子部品、その他機器・システムの製造  
 ・販売・賃貸・修理）  
 資本金（1,875億円）、前年度売上高（71,618億円）
- ・ 愛称：DENSO LOUNGE
- ・ 期間：2025年12月1日～2030年11月30日（5年間）
- ・ 応募主旨 産学連携に向けた関係性構築  
 将来の日本経済発展を担う学生への支援  
 就職先企業としての認知獲得



【推奨寸法・仕様】

寸法：センター面 [W≒1,000] (切文字)

仕様：正面焼付塗装パネル壁面に塩ビシート切文字貼り



【推奨寸法・仕様】

寸法：社名ロゴ部 [W≒1,000]

ポスターケース [A1 サイズ]

仕様：RC 面にペイントフィルム切文字貼り

(又はアクリル切文字接着取付)

ポスターケースはビスにて固定



【推奨寸法・仕様】

寸法：社名ロゴ部 [W=800]

仕様：RC面にペイントフィルム切文字貼り

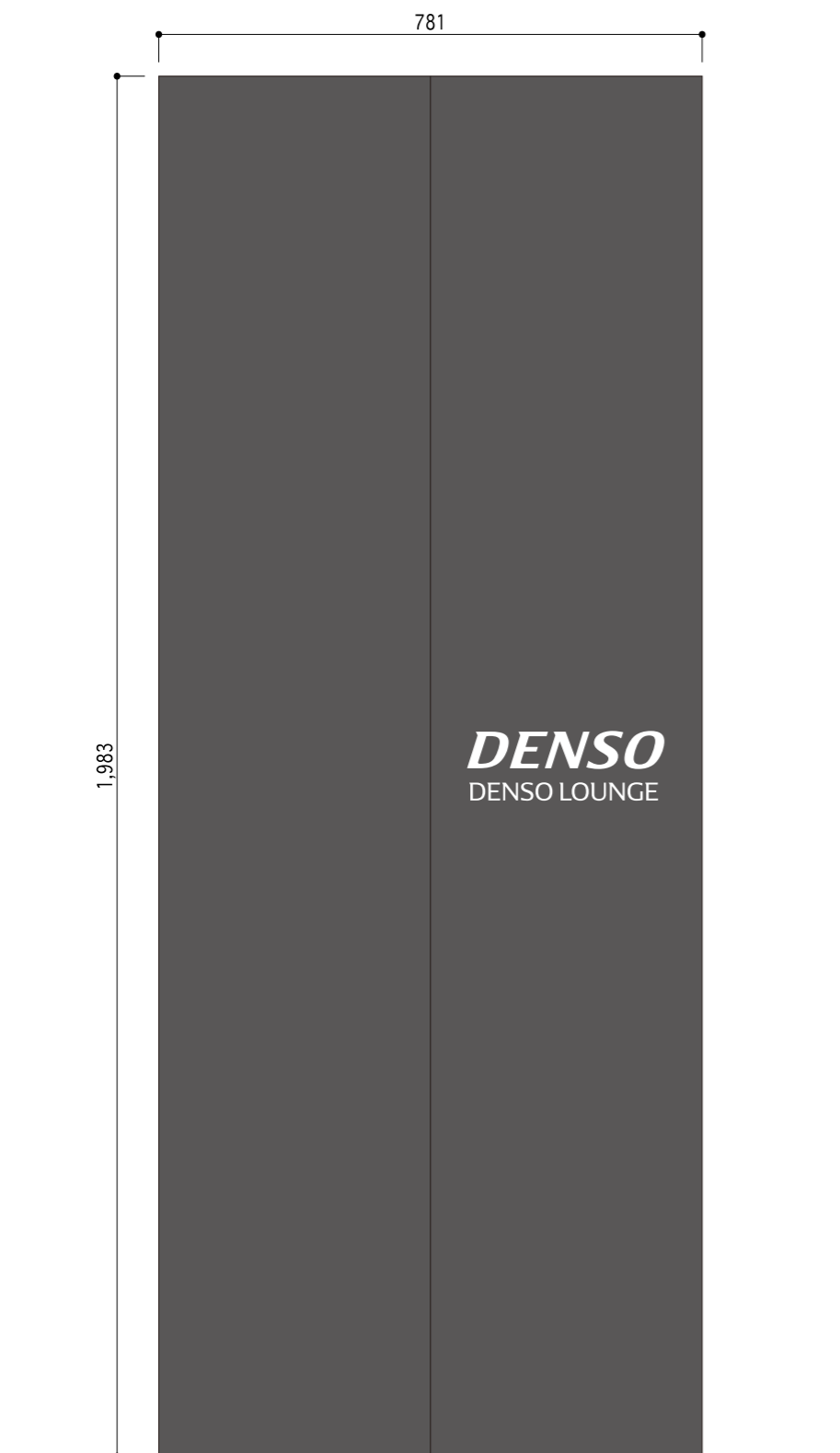


【推奨寸法・仕様】

寸法：社名ロゴ部 [W≒500]

仕様：RC面にペイントフィルム切文字貼り  
(又はアクリル切文字接着固定)

TYPE-A (ワンポイント/白)



【TYPE-A・B / 推奨寸法・仕様】

寸法：社名ロゴ部 [W≒300]

仕様：焼付塗装パネル扉面に塩ビシート切文字貼り